

Catalogue No.

20153-10

職人技

冴えわたる

妥協を許さない執念が明日につながる。

用美：前田先生の仕事ぶりには衝撃を受けることばかりです。先生の描かれたバースは繊細で、細部はそのまま設計図になるほど緻密です。家具一つひとつの意匠から寸法まで、全部先生の頭に入っています。先生のモノを見る目に少しでも近づきたいと思っているのですが…。

前田：「この太さが違う!」「ふくらみの曲線が直っていない」「図面と納め方が違う」。用美が作った試作に対して、ずいぶん無理な注文をしても、用美さんは必ず応えてくれます。妥協を許さない姿勢が、用美最大の武器なのでしょう。その姿勢こそが、私の励みとなっています。何度も作りなおせてなるものかと、一つひとつの寸法を吟味するようになりました。モノづくりに執念を燃やす建築家と職人が議論を繰り返し、心を通わせていくことで、本物は生まれるのだと思っています。

